

ニュースの芽

桃大総研がWeb講座開く

桃山学院大学総合研究所

共同研究プロジェクトによる初めての公開ウェビナー

「水・社会インフラ整備更新の課題と展望を問う!」

が12月4日、開かれた。オンラインで多くの一般の人

と学生が生活にかかせない水についての講義を受講。

多くの質問も寄せられた。

ウェビナーは、ウェブ(Web)とセミナー(Seminar)を組み合わせた造語でWebカメラなどを利用してインターネット上で行うセ

ミナー

榎塚台の会館で

Xマスのつどい

12月15日、榎塚台地域会館で「にこにこサロン」のクリスマスコンサートが開かれ、近隣の高齢者が集まった。

「ドイツへの誘い」と題した森脇登美子さん(榎塚



ナーのこと。

初となるウェビナーでは、

「水循環基本法フォローアップ委員会」委員で、総務

省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」

アドバイザーなどを務める福田健一郎さんを講師に迎

え実施された。

福田さんは、日本の水道整備は明治時代にコレラが流行したこと

からスタートしたことや、国連加盟国193か国の中で蛇口から直

接水を飲むことができる国

台2丁)のピアノ演奏が披露。「メヌエット」歌の翼に

「ハンガリー舞曲第5番」など、森脇さんの演奏に参

加者は魅了された。また1曲ずつエピソードが紹介さ

住民の憩いの場ふれあい喫茶

12月9日、庭代台2丁の府営住宅集会所でふれあい喫茶「あいあい」が開かれ、近隣の住民でにぎわった。

コロナ禍で外出を自粛していた人が多く、久しぶりに知り合いやスタッフに会い、近況報告しあう姿が見られた。

同喫茶は、庭代台校区福祉委員会主催で月1回開催し、毎回会館が満員になる地域の憩いの場だった。

しかし、同福祉委員会と運営ボランティアスタッフとの意見の相違で19年4月

は16か国しかないことを解説。しかし、日本の人口減少と共に2043年までに9割の自治体が平均約40%

の水道値上げを必要とされる予測も。その中で香川県や広島県市で行われている水道事業の広域化の先進事例も紹介した。

同研究所所長の小島和貴(法学部教授)さんは「地域の人たちの関心のあるテ

ーマで公開ウェビナーをシリーズ化し、研究の見える化につなげたい」と、初回を振り返った。

「横山」

れ、森脇さんの楽しい話に笑いが起こる場面も。最後にクリスマスソングを全員

で歌い、クリスマス気分を満喫した。

「富尾」

に喫茶が休止する事態に。住民から再開を望む声が強

く、またボランティア有志も「住民が集まる場所が必要」と考え、場所を変えて

存続しようと場所探しに奔走。同年9月に現在の集会所で再開し、地域の新たな憩いの場に。マスクをしな

がらもおしゃべりを楽しみ、笑い声があがる場面も。「みんなに会うのを待ち望んでいた」と参加者。

毎月第2木曜1時~3時、2丁府営住宅集会所で。

「富尾」

義歯の考え方を見直しませんか?

入れ歯はこんな物という患者様が思っているネガティブな「痛い、噛めない、見た目が悪い、違和感があるetc」様々な問題点を考えた時入れ歯の欠点を少しでも改善できれば義歯への考え方も変わるのではないのでしょうか。

歯が抜けてしまった場合の処置として考えられる方法は大きく3つ。ブリッジ、インプラント、そして義歯。ブリッジ、インプラントは取り外さなくても良い、しっかり噛めるなど長所は沢山あります。しかしながらブリッジだと例え健康な歯であっても前後の歯を削らなければなりませんし、インプラントは歯肉や顎の骨をさわる外科処置が必要となります。

義歯は取り外しが必要ですが、義歯を入れるための処置(歯を削ったり外科処置など)は必要なく、製作する際の身体へのリスクは少ない処置方法と言えます。

ただ問題点もあります。冒頭にも挙げているような「違和感、見た目が悪い、しっかり噛めないetc」そう言った問題点をできる限り改善した義歯を提供できればと、今回当医院が導入した義歯は薄くて、軽くて、違和感が少ない、少し目立たないところに外れにくい加工をした義歯です。この加工により調整回数を減らす事が可能となり、コロナ禍で不要不急とは言え通院に抵抗がある方もおられる昨今、通院回数を減らせる事はかなりのメリットと考えます。(※歯肉の状態により長くなる場合もあります)

噛める。
口元を気にせず笑顔になれる。
見た目と装着感が自然である事は
あなたを自由にします。

そして「患者様の望まれる治療」という面で自由度が高いことはドクターにとっても大きなメリットとなります。



4本前後の欠損症例(画像)であればかなり小さくできることが多く、見た目にも他人から義歯を装着しているとわからない位に装着することも可能です。少数歯(1~4本)欠損でブリッジかインプラント、また義歯に抵抗があり悩んでおられる方は、残っている歯の状態、歯の数、顎の形態などにより処置内容(義歯の設計)に個人差がありますので、時間をかけて納得いくまで説明させていただきます。

まず、お電話かメールでご連絡を

ながつま歯科クリニック

☎0721-23-5416

富田林市常盤町1-8
富田林センタービル2F(富田林市役所隣)
近鉄長野線「富田林西口駅」徒歩1分
E-mail: info@nagatsuma-dc.com

☆☆☆☆
急性硬膜下血腫に

12月23日夜、檜尾で、80代男性が施設内で転んで頭を打ち急性硬膜下血腫を起した。

☆☆☆☆
椅子から落ちる

★★★
尻などケガ

12月26日昼、若松台3丁

で80代女性が自宅内で椅子から落ち尻などにケガをした。

☆☆☆☆
歩行中転ぶ

12月16日朝、伏屋町3丁目で80代男性が歩行中に転び右足太ももにケガをした。

12月16日昼、光明台1丁目で、80代女性が歩行中に転び左手首と左足太ももな

どにケガをした。

☆☆☆☆
男児が後頭部ケガ

12月16日昼、はつが野2丁目で、男児が階段1段目から転落し後頭部にケガをした。

☆☆☆☆
階段で転び

★★★
手足がマヒ

12月21日夕方、室堂町で、70代男性が階段1段目から

火災14件、前年比7件減る

昨年の南消防署 コンロなど主原因

昨年1月~12月、南消防署管内の火災件数は14件(前年比7件減)、死者1名(前年比1名増)、負傷者3名(前年比12名減)。

火災原因のトップは、電

転落し、額と首にケガ。その後手足にマヒを起した。

☆☆☆☆
右足にケガ

12月23日昼、光明台3丁目で、70代男性が転び右足にケガをした。

☆☆☆☆
後頭部打つ

12月24日未明、和田で、70代女性が転び後頭部を打

った。

「プラグとコンセントの間に埃や湿気がたまっているか、たこ足配線になっていないか、束ねた家具の下敷きになっていないか、コードが傷ついたりプラグが変形していないかなど、今一度確認を」と同署。

和泉市消防署管内での昨年の火災件数は42件(前年比16件増)で、原因のトップは、電気9件、放火5件、コンロ3件。救急車の出場件数は8574件(前年比29件増)だった。

「松林」